

〔資料紹介〕

福田徳三手稿類について

金 沢 幾 子
古 本 正 子

本学の附属図書館には、福田博士の手稿や講演記録、ゲラ刷りの類いが保管されている。これらの資料はもともと故杉本栄一教授の研究室に置かれていたものであるが、図書館に移された経緯はつまびらかでない。

現在、資料は16包にゆわえられ2つの木箱に収まっている。包みの大半には中身を簡単に記した、井藤半彌先生あるいは杉本栄一先生によるものと思われるメモ書きがある。

手稿類は、バインダーにとじられているものや、ナンバーがつけられているものもあるが、大半はバラバラである。用紙は大判のノートや、福田徳三原稿用紙、あるいは三素書屋用紙と印刷された特製のものなどが使用されている。

今回は、福田徳三博士の手稿類の存在を紹介することを目的に、大まかな分類の下に手稿類のリストを作成し、必要と思われたものには〔補足〕を加えたが、内容についての調査はできていない。

リストを作成するにあたり、福田博士の門下であられた山田雄三本学名誉教授が以前に資料を区分された分類大綱を参考にさせていただいた。また、1982年に当時東京大学経済学部大学院在籍の宮島英昭氏（現早稲田大学商学部助教授）が福田研究の調査をされた折りのメモも参考に使わせていただいた。

なお、1988年11月に山田雄三先生より、福田博士の講義を記録したノートや、博士の蔵書目録の作成記録など数点を寄贈していただいた。これらの資料も手稿類とあわせて掲載した。

資料の区分は次の通りである。

- I. 独逸留学時代（1898—1901）の手稿類
- II. 講義録及び講義資料
- III. 著書原稿及び校正刷り
- IV. 講演及び演説の記録

- V. 新著紹介, 書評, 及び序文
- VI. その他の手稿 (アルファベット順)
- VII. 目録類及び著作リスト
- VIII. 書簡, その他

手稿を判読できなかったものもあり、誤りや分類上の間違いなど多々あることと思われる。手稿類の解明が進み、資料が適切に整理、保存され、研究に役立つようになることを望むものである。

福田徳三手稿類

I 独逸留学時 (1898—1901)の手稿類

1. プレンタノの講義記録 (第5包)

Sozialpolitik I. Brentano. 工政 Okonomische Politik. Winter 98/99
VIII—XII (ノート 5冊)

〔福田の経済政策の講義に使用〕

2. 学位論文

Die Entwicklung der Wirtschaftseinheit in Japan. 1899.

I, II Theil. (第12包)

第2稿 (第14包)

〔Die gesellschaftliche und wirtschaftliche Entwicklung in Japan として1900年 Cotta (Stuttgart) より出版, 1907年坂西由蔵訳で『日本経済史論』として宝文館より刊行, 1925年自訳, 『経済学全集』第3集所収の草稿〕

* S. R. Steinmetz などによる書評の手写数点 (第14包)

〔一部は『全集』第3集に所収〕

3. その他

「威府列国商業教育会議」手稿4枚 (第14包)

「読佐野氏価値論」手稿7枚 (第12包)

「商科大学設立ノ必要」(明治34年2月石川巖, 関一など8名連記) 手稿3枚

(雑包)

〔『高等商業学校同窓会会誌』15号: 明治34年4月掲載分の原稿〕

* 科目と時間数(独語) 手稿2枚 (雑包)

「横井教授ノ新著ヲ読ミテ」手稿2枚 (第14包)

II 講義案および講義資料

「工業政策」

Sozialpolitik

- 1914/15〔大正4.10.4始講〕(第2包)
 1915/16 (第2包)
 1916/17 (第2包)
 1917/18 (第2包)
 1918/19 Gewerbe Politik (第2包)
 1920/21 (第4包)
 1922/23 (第3包)
 1924/25 I, II, Exkurs (第3包)

「経済原論」

Volkswirtschaftslehre

- 1918/19 (第1包)
 1920/21 第1, 第2ノート (第1包)

Theoretische Nationalökonomie

- 1929/30 I—IX (第1包)

*井藤半彌または杉本栄一教授による福田講義録の概要紹介 在中

*山田雄三受講ノート1924 2冊 第1冊: 交換論ほか 第2冊: 流通論

「経済学説史」講義用控

Geschichte der Volkswirtschaftslehre 1918/19 (第15包)

Theoretische Oekonomie 1923 (April) (第15包)

Dogmengeschichte der Volkswirtschaftslehre (Handelsuniversitat) Okt. 1921—
 März 1922 (第15包)

「経済政策」

Wirtschaftspolitik

- 1924/25 (第5包)

Taylor: Introduction to a history of factory system. London 1886. 手写

13枚

Book notes. 1908 (文献リスト) 1冊

Sozial Politik I. Brentano: Oekomische Politik Winter 98/99 VIII—XII
 5冊

「経済史」

経済史講義諸論 手稿6枚 (第12包)

比較経済史講義要領 手稿 2 枚 (第 12 包)

『経済史』講義要目 1929 年 4—8 月於小樽高商 3 p. (第 6 包)

『経済史』講義要領 (講義時間百時間) 5 枚 (第 12 包)

* 福田先生担当科目調 (第 1 包)

杉本栄一先生宛 東京商科大学学生課昭和 7 年 12 月 27 日付

III 著書原稿および校正刷

『経済小学』手稿バラ〔大倉書店 〕 (新雑包)

『経済学講義』第 3 編: 欲望と其充足

第 4 編: 生産の動因 校正刷り (雑包)

〔大倉書店『経済学講義』中巻 (明治 42 年 6 月), 下巻 (同 9 月) 刊行〕

『経済学教科書』手稿バラ〔大倉書店 1911 年刊〕 (新雑包)

『国民経済講話』第 6 編: 生産論 (其 3) 資本及組織 第 31 章: 資本の意義及本質
手稿 116 枚 (雑包)

〔佐藤出版部 大正 8 年刊『国民経済講話』(坤 2) の原稿〕

『流通経済講話』第 1 巻 (第 6 包)

手稿 100 枚, 大正 12 年 7 月 17 日付手稿 67 枚, 大正 12 年 9 月 1 日付手稿 198 枚ほ
か, 序言 (大正 14 年 3 月 27 日) 20 枚 〔大鏡閣 大正 14 年 6 月刊の原稿〕

『唯物史観経済史出发点の再吟味』手稿, 校正刷 (初校, 再校, 三校) (第 10 包)

〔「改造」昭和 2 年 5—9 月掲載, 改造社昭和 3 年刊行単行本の手稿及び校正刷〕

『国民経済学原理』総論, 流通編 (昭和 3.6) 手稿及び校正刷 (第 6 包)

〔改造社版『経済学全集』第 2 巻「経済学原理」(総論及生産編) (昭和 3.9), 第
3 巻「経済学原理」(流通編) (昭和 5.10) の原稿と校正刷〕

『厚生経済研究』第 1, 2, 3 編の原稿及び校正刷, 抜刷 (第 7, 8, 9 包)

第 3 編「マルキシズム概論」(第 11 包)

付録: Cyclizität des Wirtschaftslebens und der Wirtschaftspolitik im Lichte
der japanischen Entwicklung, in ihrer Beziehung zum Auslande, 1868—1925.
(第 11 包)

〔各章の論文は「改造」に掲載されたものが多い。単行書は刀江書院より昭和 5
年刊行〕

IV 講演及び演説の記録

「現代経済生活の特徴と国民教育の使命」(兵庫県御影師範学校創立五十周年記念講演
昭和 3 年 3 月 18 日) 抜刷 (第 8 包)

- 「現代経済社会の機構と運動 附：国民教育の経済的意義」（第9回小学校教育聯合発表会）手稿29枚（第8包）
- 「現今経済学を中心問題」（内閣統計講習会講演録昭和4.3.31発行）抜刷（第8包）
- 〔如水会〕「中央及び北欧の夕」邦文及び独文：Eroeffnung und Begruessung「如水会会報」69号：昭和4年8月 抜刷（第8包）
- 〔如水会ドイツの夕〕「Toastrede」「如水会会報」61号：昭和3年12月 抜刷
（第8包）
- 〔如水会ベルギーの夕〕「Remarks. 29 Nov. 1928」「如水会会報」62号：昭和4年1月 抜刷（第8包）
- 「経済的国難を論じ商業教育の使命に及ぶ」（県立神戸商業学校創立五十年記念講演）講演速記清書91枚（第8包）
- 「金解禁と其後の財界」（10月16日於日本橋酒商同業組合総会茶話会）〔講演筆記〕144枚（第8包）
- 「金輪解禁問題」土木業協会昭和4年3月11日講演（「土木業協会会報 第22号：昭和4年5月20日発行）pp. 27—59 切り抜き（第8包）
- 「マルキシズムの大意と其の批判」千葉県主催「千葉県中等教育研究会」講演筆記21枚（第8包）
- 「明治財政変動史の一観察」昭和2年6月21日朝日講堂明治文化講演会 速記原稿1枚（第8包）
- 「露都モスクヴァに於ける討論 殊に日本の人口に関する労農国識者の見解」（昭和元年11月24日龍水社総会に於いて）手稿断片2枚（第8包）
- 「失業の教育と教育の失業」（25—Nov.—29於朝日講堂）邦文8枚，英文6枚〔講演草稿メモ〕（第8包）
- 「所感」（大正15年8月2日於神田如水会）講演速記 79p.（第9包）
- 「財界の現状」（昭和2年7月8日於第14回日本橋区酒類商茶話会）講演速記
（第8包）

V 新著紹介，書評，及び序文

- 「価値論 和岡ピールソン原著 河上肇，河田嗣郎解説」（新著紹介）手稿1枚
（第12包）
- 「新刊書読後感」（昭和4.12.5）〔「改造」昭和5年1月 掲載原稿〕手稿133枚
（第8包）
- 「新刊書読余録」（昭和4.6.8）〔「改造」昭和4年7月号掲載〕手稿35枚，抜刷
（第9包）

- 「クールノー富の理論に序す」(昭和2年10月11日) 手稿22枚 (第8包)
 「フックス国民経済学に序す」(昭和3.3.12記) 手稿15枚 (第9包)
 「ゼード消費組合論に序す」(1928.12.28記, 昭和4.2.25校正) 手稿11枚, 校正刷り4枚 (第9包)
 「貨幣は品質を变じて……」(序) 手稿4種1枚ずつ (第12包)
 「神田先生遺稿集に序す」1926.2.21付 手稿17枚 (第8包)
 「経済学原論編纂序文」手稿13枚 (第8包)
 「Memorials of Naibu Kanda. 1927. Foreword」抜刷 (第8包)
 「二十世紀は資本主義の時代なりと称す」(序) 手稿1枚 (第12包)
 「歴史は偏見を持して」(序) (第12包)
 手稿(明治44年5月上旬)3枚, (明治44年5月)1枚, ほか2種1枚ずつ

VI その他手稿 (アルファベット順)

- 「米価の問題」手稿1枚 (第12包)
 「クラフト・ギルド英 Craft-guild」6枚 (第12包)
 〔『経済大辞書』第2冊 同文館 明治44年7月刊の原稿〕
 「La <Cyclicité> de la vie économique et de la politique économique éclairée par l'exemple de l'évolution Japonaise de 1868 a 1925 dang ses rapports avec l'étranger. (Extrait du Journal de Economistes, avril 1926)」抜刷 (第8包)
 「洞窟に住める」「洞窟に住むもの」……〔「洞窟の内と外」として『厚生経済研究』及び『社会経済体系』第1冊(大正15年)に所収〕 (第8包)
 「ギルド」英 Guild 手稿1枚
 独 Gild 手稿1枚 (第12包)
 〔『経済大辞書』第2冊に所収〕
 「浜口内閣の政策批判一局外者の立場から新内閣に要望する若干事一」(「改造」昭和4年8月号) 抜刷 (第9包)
 「一橋会役員は辞職す可し」6月24日於軽井沢 手稿8枚 (第8包)
 「一橋会役員諸氏に其責を問ふ」昭和2年6月24日於軽井沢認む 手稿12枚 (第8包)
 〔「一橋新聞」54号(昭2.7.4)掲載原稿〕
 「How to reedjust the closed banks; create a government investigation organ」(The Japan times & mail, Sunday, Dec. 4, 1927) 抜刷 (第8包)
 「A Japanese study of Shakespeare's Julius Caesar by B. Uraguchi (Printed in the Tokyo Nichi-nichi, March 9—16, 1923) タイプ稿ほか16枚 (第9包)

- 「神田先生遺稿に序す」1 (昭和2.6.20), 2 (昭和2.7.4) 「一橋新聞」切抜き (第8包)
- 「経済機構移動の原理より見たる金輪解禁問題」手稿2枚 (第8包)
- (1), (2) 手稿11枚 (第8包)
- 「金輪解禁問題について」(昭和4.3.4) 手稿9枚 (第8包)
- 東洋経済新報 昭和4年3月16日号掲載 pp. 40—42 (564—565) 切抜き (第8包)
- 「Kwangs and three principles; debate between Jai, Fukuda and Goto」(The Japan Adviser, Tokyo, Friday, April 22, 1927) 切抜き (第8包)
- 〔「改造」昭和2年4月より訳したもの〕
- 「局外者の立場から新内閣に要望する若干事」昭和4.7.9付 手稿37枚 (第9包)
- 〔「浜口内閣……として「改造」昭和4年8月掲載分原稿〕
- 「Memorials of Naibu Kanda. In memoriam Prof. Kanda」抜刷 (第8包)
- 「民学存在の意義」(一) 手稿2枚 (新雑)
- 同 手稿5枚 (新雑)
- 「日露両国の知的協力」(邦文・露文) 『商学研究』8巻2号; 昭和3.7; pp. 217—221 抜刷 (第8包)
- 「日・支・露問題討議 福田徳三・載天仇・後藤新平」(「改造」昭和2年4月特別号) pp. 2—28 切り抜き (第8包)
- 「1000 women locked out from dormitories; spend night shelterless in rain」(The Japan Time & Mail, Wednesday, Sept. 14, 1921) 切り抜き (第8包)
- 「欧州戦乱期に於ける英仏両国大小農制度に関するアーサー・ヤングの研究」
- 其一 手稿65枚 (雑包)
- 其二 手稿69枚 (雑包)
- 其三 手稿62枚 (雑包)
- 〔「三田学会雑誌」8巻10号, 9巻1号, 2号掲載分〕
- 其二 未定稿 13枚, 22枚 (雑包)
- 「La question de l'emprunt en Francs de la ville de Tokio, examinée au point de vue de l'équité internationale」タイプ稿(カーボン複写) 23枚 (第9包)
- はしがき(手稿, 6p), タイプ稿26枚 (第8包)
- 〔『インヴェストメント』4巻10号: 昭和1.10 「国際信義の立場より見たる東京市仏貨償問題」の全仏訳〕
- 抜刷(『商学研究』8巻1号; 昭和3.4 pp. 1—24) (第8包)
- 「労働……」手稿3枚, 16枚 (第12包)
- 「正統経済学評論」手稿3枚 (第12包)

「失業の必然・不必然と失業対策の可能・不可能」(『改造』昭和4年9月号 pp. 75—100) 2部 (第9包)

「商業学トハ何ゾヤ」手稿2種(16枚, 27枚)(雑包)

「左右田博士の逝去に際して」(昭和2.8.17)手稿13枚(第9包)

〔『如水会会報』46号 昭和2年9月の原稿〕

『『進め』記者へ御答』(2.5.1)手稿2種(8枚, 11枚)(第8包)

「東京市仏貨債事件の敗訴」(『改造』昭和3年3月号)抜刷(第9包)

「Vorläge über Marxismus (28—Db—29) 手稿ノート(29枚)(第8包)

「野球問題に関連して我邦民学存在の意義を考ふ」手稿(未完)3枚(新雑)

〔「民学存在の意義」と同内容〕

「余剰原理の展開」手稿7種(第9包)

「余剰価値論梗概」手稿各1枚6種(雑包)

「座考」福田徳三輯 写本48丁(雑包)

Ⅶ 目録類, 著作リスト

「泉書目録」(〔明治〕43年8月17日手写)(目首:古泉書目録)(雑包)

「婦朝以來断片目録一論説・講演・雑史」(昭和4.6.18)(第7包)

「序文」リスト(第8包)

「所感」「講演」等リスト(第8包)

Ⅷ 書簡, その他

Herr Professor Fuchs 宛書簡 3枚(第12包)

守屋孝兄侍史(9月26日於鎌倉)3枚(前部分欠)3枚(新雑)

「拜啓 国民経済雑誌五月号の……」書簡下書き1枚(新雑)

履歴書1枚(第12包)

山田雄三先生寄贈資料

1. 福田徳三卒業論文『恐慌不況論』Commercial crises and depression of trade. July 19th, 1896. 105 p. タイプカーボン複写1冊
2. 山田雄三(本科1年)福田博士『経済原論』講義ノート 1924 第1冊「交換論」ほか, 第2冊「流通論」
3. 福田徳三著作リスト(タイプ稿)
4. 〔商大図書館所蔵福田徳三著作リスト〕(旧分類)

5. 故福田博士「蔵書目録」作製の覚え書(山田雄三)

6. 福田蔵書目録概数 昭和5年5月調(山田雄三)

なお、福田博士の主要著作を含む略年譜、本学関係誌紙(『商学研究』や『一橋新聞』など)に発表された論文、および福田博士に関する参考文献については、本誌第102巻第6号(通巻590号) pp. 212—224に掲載しております。

(一橋大学附属図書館洋書係)

(一橋大学附属図書館和書係)